



特集

# 道元禅師ものがたり

③

## 比叡山と決別して、いよいよ禅の道へ



十三歳で出家した道元禅師は、比叡山で教学と修行に打ち込みます。しかし、「もし人間に仏性が本来備わっているのなら、なぜわざわざ修行する必要があるのだろうか？」道元禅師の素朴で根源的な疑問に、三井寺の公胤僧正は禅宗へ触れるようすすめたのです。

中国の宋に二度もわたって、臨済禅を日本にもたらしました。鎌倉幕府・二代將軍の源頼家の援助により建仁寺を建て、禅宗を京都に広めようとしたが、比叡山の反対にあいます。栄西禅師は、京都での布教をあきらめ鎌倉へ向かいました。

鎌倉では武家政治が新しい文化を求めています。禅宗の教えは武士の心にあい、武家文化の精神的な支柱となっていました。栄西禅師は京都と鎌倉を往復せざるを得ず、多忙をきわめていたのです。

初めて禅の教え

建保三年（一二二五）、栄西禅師は亡くなってしまいます。七四歳でした。道元禅師が初めて建仁寺を訪れた一年後のことでした。道元禅師と栄西禅師が言葉を交わしたという記録は、残念ながら残っていません。

しかし、道元禅師の言葉を記録した『正法眼蔵随聞記』には、栄西禅師のエピソードを語る道元禅師の姿があちこちに出てきます。栄西禅師への高い尊敬の思いを強く感じます。

栄西禅師との語らひは、機会もあまり多くなく、時間もそれほど長くは取れなかったかもしれませんが、仏法の真髓を求めていた十五歳の道元禅師には、強烈な印象を残したのではないのでしょうか。一言ひとことが身体にしみこむ思いだったに違いありません。

比叡山から建仁寺へ

栄西禅師によって禅の教えに目を開かれた道元禅師は、中国にわたって禅を学びたいと強く願うようになりました。

建保五年（一二二七）、十七歳になった道元禅師は、ついに比叡山と決別して建仁寺に入りました。栄西禅師の高弟であった明全和尚に師事することになります。ときに明全和尚三十三歳。道元禅師は「栄西禅師の仏法を正しく伝えるただ一人の人」と尊敬して仕えました。

承久三年（一二二二）京都で承久の乱が起こります。後鳥羽上皇が鎌倉幕府打倒をくわだてて失敗。道元禅師の縁戚にあたる後鳥羽・順徳・土御門の三上皇は、それぞれ隠岐島、佐渡島、土佐へ流されました。

この戦乱を間近に見た道元禅師は、不安におののく人々の心の救済のため宋へわたる決意を固めますが、それは次号のお楽しみにいたしましょう。

No. 27  
2009 Summer

山松舎  
寺南臨



# 臨南寺の八月は、 お盆一色に染まります



臨南寺では、八月二日(土)から  
棚経を勤めさせていただきます。

に皆様の願い事をご祈念させてい  
たきます。

十日(月)と十二日(水)には、墓  
経を勤めさせていただきます。十  
日が午前十時から十二時まで、十  
二日が午後七時から九時までと  
なっております。

十六日(日)には、盂蘭盆会施  
食会を厳修いたします。各家の精  
霊をご回向させていただきますの  
で、ぜひお参りください。ご都合が  
悪くてお参りできない方は、不参  
にてご回向をお受けいたしますの  
で、お問い合わせください。

十二日は、弁財天万灯会を開催  
します。午後六時から九時まで、  
臨南寺の境内はろうそくの揺ら  
めく灯りに包まれます。弁財天  
様への献灯をご用意しています。  
皆様の願い事を書き入れ、本堂前  
のお好きな場所にお供えいたしま  
しょう。万灯会は、お盆の迎え火  
でもあります。ご先祖や亡き人へ  
のご供養とともに、あらゆる願い  
を聞き届けてくださる弁財天様



弁財天万灯会で境内は幻想的な雰囲気。

## 臨南寺 景百



### ご本尊は釈迦牟尼仏

臨南寺のご本尊は、多くの曹洞宗  
のお寺と同じく釈迦牟尼仏です。  
本堂の須弥壇の上に祀られています。

釈迦牟尼仏は、歴史上の人物と  
してのお釈迦様です。曹洞宗は、お  
釈迦様ご自身を宗派のご本尊として

いるのです。

釈迦牟尼仏は、坐禅をされていま  
す。足を結跏趺坐に組み、両手を  
重ねて親指を合わせた形に組まれて  
います。この手の形を法界定印とい  
います。お釈迦様が悟りを開かれた  
ときのお姿です。

金色に輝く光背に包まれたたおや  
かなお姿、慈愛に満ちたお顔の表情。  
臨南寺に来られたときは、ぜひ手を  
合わせてお参りください。

なお、お釈迦様の両脇に控える脇  
侍仏については、次回にご紹介いたし  
ましょう。



見る者の心理状態に  
よって表情をさまざま  
に変えられます。



脇侍仏を従えた釈迦  
三尊。

住職  
日誌

# 御誕生寺様に 拝登してききました。

先月七日に、越前市(旧・武生市)の御誕生寺様の諸堂(本堂、坐禅堂など)の落慶法要に参列してまいりました。

御誕生寺といえますのは、横浜市鶴見区にあります大本山總持寺を開かれた瑩山けいざん禪師様のご生誕の地に、大本山總持寺の前貫首であります板橋興宗禪師様の発願により建立されました。七百数十年前、道元禪師様が永平寺を建て、曹洞宗を始められました。その教えを民衆にまで広め、全国各地に二万五千ものお寺が建つ基礎を築かれたのが、瑩山禪師様です。

板橋禪師様と臨南寺の渡邊剛毅前住職のご法縁から、小衲もご縁をいただき、拝登させていただきました。禪師様の建立への情熱を感じ、感動いたしました。皆様も、機会があればぜひご参拝ください。



臨南寺 住職  
大澤正道



●御誕生寺 福井県越前市庄田町32 電話0778-27-8821



九月二十日(日)〜二十三日(水)の四日間、

彼岸会写経会を行います。一文字一文字心を込めてのお写経は、さまざまな功德をもたらします。先祖を供養し、故人の冥福を祈り、浄福を授かります。お写経は、大本山總持寺に納経させていただきます。

九月二十六日(土)には、午後一時から彼岸会施食会を本堂にて修めます。ご家族そろってお参りし、ご先祖様をしのび、ご自分が今あることを感謝いたしましょう。



## 臨南寺行事予定 (七〜九月)

檀家様

○ 墓経

八月十日 午前十時〜十二時 受付は午前十二時半まで  
八月十二日 午後七時〜九時 受付は午後八時半まで  
\*両日ご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。

○ 弁財天万灯会 (本堂)

八月十二日 午後六時〜九時 受付は八時まで  
ご先祖様の霊を供養するとともに、あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をなさいませんか。

○ 五蘭盆会施食会 (本堂)

八月十六日 午前九時〜午後二時 受付は十二時半まで  
各家のご先祖様とご縁の深い精霊のご供養のため、法要をとりおこないご回向させていただきます。

○ 彼岸会写経会

九月二十日〜二十三日 午前十時〜午後四時  
墓苑事務所にて受け付けております。お気軽にお申し付けください。費用千円

○ 彼岸会施食会 (本堂)

九月二十六日 午後一時〜三時 受付は二時半まで  
お彼岸は、ご先祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間。家族そろってお参りし、ご先祖様に供養をささげましょう。

墓檀家様

○ 墓経

八月十日 午前十時〜十二時 受付は午前十二時半まで  
八月十二日 午後七時〜九時 受付は午後八時半まで  
\*両日ご都合のよい日にお越しください。臨南寺に墓地をお持ちの方に限ります。



## 小学生の子どもたちが 坐禅とぞうきんがけを体験

さる六月十四日(日)、ボーイスカウトの子どもたち十六人が、本堂で坐禅とぞうきんがけを体験しました。子どもたちの感想文をご紹介します。

「今日、りん南寺で坐禅をしました。やっっている間はひまでした。やった後、少し足が痛かったです。そうじもしました。ぞうきんがけは学校よりつかれました。次にさいせんを入れました。そのお金でジュースを買いたかったけど、無理矢理入れました」早矢仕智之くん(三年)

「今日はざせんをしました。一回目はたたかれるかなと思って少しこわかった。かたをたたかれた時はびくっとしました。でもそんなにいたくなかったので安心しました。やっと終わったと思って立ったら、足がびりびりしました。そうじの時、ぞうきんしぼりの水が冷たくてきもちよかったです。おしょうこうの時、すごくくさかったです」太田麗さん(四年)

「ざせんに行きました。さいしよは、たたかれるかと思いいやでした。でも入ったら、めっちゃめっちゃしぼりやなうと思いました。かねのあいずでみんなしずかになりました。とてもこわくてどきどきしていました。終わったらたたかれなくてよかったです。とてもおもしろかったです。その後たたかれました。お茶とおかしを食べました。とてもいい一日でした。ありがとございました」浮名達也くん(五年)

「りんなんじのお寺でざせんとそうじをしました。ざせんは一回目で二回目より長くかんじました。終わったときは足がしびれていました。次にたたみのおそうじのしかたをおしえてもらいました。家のそうじのしかたとはちがっていたので、少しおどろきました。今日おしえてもらったふきかたを家でためしたいと思います。今日はすごくべんきょうになりました」高森けい子さん(五年)

坐禅は気持ちのよいものです。早朝坐禅会に参加される方も増えてきました。団体での坐禅も受け付けております。寺務所にご相談ください。



## マトリ合同法要

感謝と祈りの一日を過ごしました

五月十日(日)午後二時から、がつしょう園マトリの合同法要が営まれました。前回に続き岩崎順子さんを講師に迎えて、「足元を支えてくれている御縁」という講演です。ご主人をガンで亡くされた岩崎さん、今回は小樽にお住まいのご主人のご両親のお話でした。

認知症になつたおじいちゃんと孫との交流。孫を亡くした息子と間違えたり、警察の厄介になるおじいちゃん。おじいちゃんの葬式でおばあちゃんに代わつてあいさつする息子の姿。まさに命が伝達された瞬間でした。静かな感動が本堂を満ちました。



講演のあと、マトリでそれぞれのご霊牌に手を合わせていただきました。お墓の継承者がいなくなつても供養してもらえるマトリへの入会が、年々増えています。

## 墓苑をご利用の皆様へ お願い



- 手桶を花立て代わりに使わないでください。ご使用後は必ず元の場所へお戻しください。
- お墓参り以外での駐車はご遠慮ください。境内では最徐行をお願いいたします。駐車中の事故等は一切責任を負いかねます。
- ベットを墓苑内に連れて行かないでください。
- トイレにオムツを流さないでください。
- お供物は、カラスなどに荒らされる原因となりますので、各自お持ち帰りください。

## お気軽にご参加ください

### 早朝坐禅会

毎月第一土曜日

午前六時半～ 本堂にて

\* 二月八月は、お休みさせていただきます。

### 写経会

毎月二十日 午前十時～午後四時  
写経料・千円

### 『正法眼蔵随聞記』読書会

毎月第二土曜日 午後三時～

\* 一月・八月は、お休みさせていただきます。

\* いずれも事前のお申し込みが必要です。

## 編集後記

オバマ米大統領が「核兵器のない世界をめざす」と演説して話題になりました。原爆投下を過ちと認めたのかと思いましたが、そうではありませんでした。核兵器はもちろん、すべての兵器がなくなる限り、地球に本当の平和は来ないのでしょうか。記事のご感想をお寄せください。(M)

「ほ～っと」27号

平成21年7月

編集・発行： 稜伽林「ほ～っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

☎ 0120-711-493

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール： rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ： http://www.rinnanji.com